

決算審査特別委員会

締めくくり質疑者一覧表

1 0 月 2 1 日 (月)

目 次

◎締めくくり質疑 10月21日(月)

1	自由民主党浜松	松本康夫議員	……………	1
2	市民クラブ	鈴木真人議員	……………	3
3	公明党	山崎とし子議員	……………	5
4	日本共産党浜松市議団	酒井豊実議員	……………	6
5	浜松市政向上委員会	鈴木恵議員	……………	7

質疑日	令和6年10月21日(月)			質疑方式	分割方式
質疑順位	1	会派名	自由民主党浜松	氏名	松本 康夫
項 目 (款・項等)	内 容				答弁者の職名
1 令和5年度財政状況について	(1) 令和5年度決算について、財政的観点からの総括と決算を踏まえた財政計画の考え方について伺う。 (2) 経常一般財源額については、地方税と臨時財政対策債等から成り立っているが、地方自治体における経常収支比率の経営判断指標としての考え方について伺う。 (3) 将来負担比率における早期健全化基準は400%となっているが、本市の場合は算定されていない。これでは世代間公平性の欠如や、持続可能となるための将来的政策投資に影響を及ぼすと考えるが伺う。 (4) 不用額が多額であるが、不用額を効果的に活用することで、市民サービスの向上と地域活性化を図るべきだと考える。不用額のより柔軟な活用に向けた考えについて伺う。				中野市長 鈴木財務部長 〃 〃
2 公園施設について	令和5年度の包括外部監査報告書、さらに決算審査特別委員会分科会での質疑等を踏まえ、本市の都市公園の現状と課題を具体的に把握し、より良い公園づくりに向けた今後の展望につなげるため、以下伺う。 (1) 令和5年度の総括として公園利用目的の達成について。 (2) 市民参加、多機能化、持続可能な管理、ICT技術の活用といった視点からの公園の管理運営に関する取り組みについて。				中村花みどり 担当部長
3 ふれあい交流センターについて	令和5年度におけるふれあい交流センターの子ども・子育て世代の利用割合は、全館平均で4.2%と低調であったことが報告されている。この状況は、単に施設の利用率が低いという問題にとどまらず、地域全体の福祉サービスのあり方や、多世代共生社会の実現に向けた取り組みの遅れを暗示していると考えられるが、以下伺う。 (1) 令和5年度の総括としてふれあい交流センターの利用目的の達成について。 (2) 利用者の意識と変化について。				小松健康福祉 部長
4 雇用促進と労働力確保について	少子高齢化や労働力不足、多様化する労働環境といった社会情勢の変化に対応するためには、さらなる事業の領域拡大と現場での支援が必要である。こ				北嶋産業部長

※二重線は、分割方式を選択した場合の分割箇所を示すものです。

項 目 (款・項等)	内 容	答弁者の職名
	これらの課題を踏まえ、雇用促進事業の現状を深く分析したうえで、以下伺う。 (1) 令和5年度の総括として雇用促進の目的達成について。 (2) 人口減少に伴う労働力確保について。	

質疑日	令和6年10月21日(月)			質疑方式	分割方式
質疑順位	2	会派名	市民クラブ	氏名	鈴木 真人
項 目 (款・項等)	内 容				答弁者の職名
1 創造都市推進事業 クリエイティブシティブスター事業について	本事業の決算額は、はままつクリエイティブシティブスター事業実行委員会（以下「実行委員会」という）に対して執行した市の負担金の1122万3000円となっている。一方で、実行委員会は、12講座の実施を含む経費として295万円を支出し、発生した余剰の負担金は令和6年度に一旦繰越し、実行委員会の規程に基づいて市に返還するとのことであった。 決算は、その年度内に事業に要した経費のみを計上すべきであり、執行した市の負担金全額を決算額とする決算処理では、実行委員会が事業に要した実際の経費と決算書（令和5年度決算に係る主要な施策の実績報告書）の決算額との乖離が生じ、事業に要した実際の経費が決算書を見ても分からなくなっている。 そこで、以下伺う。 (1) 12講座に掛かった経費は負担金ガイドラインでは事業費負担金に該当すると考えるが、団体運営費負担金として一旦翌年に繰越して、翌年度に市に返還する決算処理を行っていた経緯や理由を伺う。 (2) 令和5年度予算と実際の経費が大きく異なっているが、予算作成の考え方や精度、乖離が生じた理由について伺う。 (3) 会計上の決算額と実際に掛かった経費の精算規定も含めた負担金ガイドラインの見直しなど、決算上の取扱いを改めるべきと考えるが、いかがか。 (4) 他の事業においても同様な決算処理が行われていることはないか伺う。また、決算の重要性に対する庁内の認識を高めることが必要と考えるが、いかがか。				嶋野文化振興 担当部長
					〃
					鈴木財務部長
					〃
2 スクールソーシャルワーカー（SSW）について	スクールソーシャルワーカー（SSW）は、学校に福祉的視点を導入し、家庭や地域との連携、各関係機関や専門家との協力体制の強化を図り、不登校やいじめ、問題行動の未然防止や早期発見、早期解消を目指すために学校に派遣されており、令和5年度時点で17名の体制となっている。 小中学校にとって重要な存在であるが、拠点校に配置され、近隣小中学校を巡回する体制となっているため、時間的制限などがあり、相談機会の増加を求める声がある。 現在、全員が会計年度任用職員であり、正規職員と異なり年度毎に雇用契約更新が必要となることや、1名を				宮崎教育長

※二重線は、分割方式を選択した場合の分割箇所を示すものです。

項 目 (款・項等)	内 容	答弁者の職名
	除き週 4 日勤務（1 週あたり 30 時間の勤務）のため報酬などの処遇に課題があると認識している。 また、S S W は、社会福祉士、精神保健福祉士が担っており、社会的人材需要が高いことから人材確保も課題となっている。 そこで、こうした課題に対して S S W の処遇改善や正規職員の配置について検討したか伺う。	

質疑日	令和6年10月21日(月)			質疑方式	分割方式
質疑順位	3	会派名	公明党	氏名	山崎とし子
項 目 (款・項等)	内 容				答弁者の職名
1 保育士の負担軽減について	保育士の業務において、子供一人一人を日々大切に育てる役目を担うことが困難になっていると聞く。多忙な保育士の仕事をサポートする保育補助者によって、ゆとりある保育が可能になると考える。令和5年度には新規事業として保育補助者雇上強化事業がスタートしたが、実績では、私立保育所等対象施設が182施設ある中で、補助金を受けた施設は25施設であった。 そこで、補助金を活用した施設では、どのような効果があったのか伺う。				吉積こども家庭部長
2 街中の放置自転車規制について	ザザシティ浜松前歩道の放置自転車について、一向に改善されず、中心市街地の景観を損ねている。駐輪後2日間の猶予を与える自転車等放置規制区域と指定していることがその原因と思われる。 そこで、この一帯周辺を浜松駅周辺と同じ自転車等放置禁止区域にするべきであったと考えるが見解を伺う。				平井土木部長
3 若者の投票率の向上について	平成28年に18歳以上20歳未満の者にも選挙権が与えられ、18歳、19歳の若者の投票が加わり、全体の投票率の向上が期待されてきた。しかし、令和5年の統一地方選挙において、抽出調査では全体の投票率48.89%に比べて、18歳、19歳の投票率は22.97%にとどまり、26ポイント低く、若者の投票意識の低さに課題があることが判明した。 そこで、令和5年度における若者への投票率向上への取組内容の総括を伺う。				田中総務部長
4 狂犬病予防接種の未接種について	本市は、犬を飼う世帯数が政令市の中でトップである。狂犬病の予防接種を毎年打つことは飼い主の責任であると考えているが、令和4年度と同じく令和5年度も1万頭の犬が未接種であることが分かった。 そこで、令和5年度の接種勧奨の効果、接種に対する考え方の啓発・周知について伺う。				西原保健所長

※二重線は、分割方式を選択した場合の分割箇所を示すものです。

質疑日	令和6年10月21日(月)			質疑方式	分割方式
質疑順位	4	会派名	日本共産党浜松市議団	氏名	酒井 豊実
項 目 (款・項等)	内 容				答弁者の職名
1 ふるさと納税について	(1) ふるさと納税の令和5年度の状況と課題について伺う。 (2) ふるさと納税制度による税などに関する収支について伺う。				齊田観光・ブランド振興担当部長 村上税務担当部長
2 災害対応と職員の長時間残業について	気候変動下の豪雨・風水害が頻発して、危機管理課や土木部をはじめとして職員の超過勤務、長時間残業が常態化している。この点で天竜土木整備事務所は特に顕著で、今後の活動にも重大な懸念が生じていると考えられることから、昨年度の時間外勤務の状況とこの間の対応及び課題を伺う。				田中総務部長
3 企業立地補助金について	(1) 補助金の返還問題で、収入未済5235万円の理由を伺う。 (2) 県と協調した補助金だが、県の状況を伺う。 (3) 補助した事業の継続状況はどのように確認しているのか伺う。				北嶋産業部長
4 遠州灘海浜公園篠原地区について	(1) 昨年度、市として行った事務事業は何か。 (2) 複数のドーム球場を現地視察した結果を伺う。 (3) トビオ周辺の造成工事の状況を伺う。 (4) 造成工事での液状化対策を伺う。				中村花みどり担当部長

※二重線は、分割方式を選択した場合の分割箇所を示すものです。

質疑日	令和6年10月21日(月)			質疑方式	分割方式
質疑順位	5	会派名	浜松市政向上委員会	氏名	鈴木 恵
項 目 (款・項等)		内 容			答弁者の職名
1 企業版ふるさと 納税について		企業版ふるさと納税について、伺う。 (1) 企業版ふるさと納税の寄附募集にあたって、令和5年度はどのような体制で行っていたのか。目標金額はあったのか。 (2) 制度利用にあたっては、自治体が寄附企業に「経済的な見返り」を与えることを禁じているが、本市として、経済的な見返りを与えないために、どのようなルールを作っているのか。			工藤企画調整 部長
2 はままつクリエイティブシティブースター事業について		はままつクリエイティブシティブースター事業について、伺う。 (1) 令和5年度予算では、市からはままつクリエイティブシティブースター事業実行委員会に1122万3000円の負担金が支出された。しかし、実行委員会の決算では940万円余の繰越金が出た。このことは、計画していた事業などが多く執行されていなかったと推測できる。そこで、予算段階で計上されていたワークショップアドバイザーの導入、WEBシステムの構築ができなかったのは何故か。また、ワークショップ費用、講師謝礼、会場費などが500万円以上使われなかったのは何故か、当初の計画どおりにできなかった理由を伺う。 (2) 事業目的は、自ら創造的活動を始める人材の発掘、育成だが、ワークショップの参加者から次の新しい活動を始めた方は何人いたのか、成果を伺う。			嶋野文化振興 担当部長

※二重線は、分割方式を選択した場合の分割箇所を示すものです。